

I 調査の概要

1. 調査の方法と内容

各都道府県並びに政令都市教育委員会、各都道府県私立学校担当箇所、所管する高等学校の海外修学旅行並びに修学旅行以外の海外研修の実施状況等について調査を依頼し、以下のとおりまとめた。

なお、東京都・福岡県の私立及び兵庫県の公私立の実施状況については本協会の独自調査によった。愛知県の私立学校に関しては、愛知県私立中学高等学校協会の協力を得た。

- (1) 調査の期日 平成27年5月1日現在
- (2) 調査対象 各都道府県並びに政令都市教育委員会、各都道府県私立学校所管部署
- (3) 調査内容
 - イ. 平成26年度海外修学旅行の実施校数、参加生徒数、実施時期、日数、旅行費用、訪問国
 - ロ. 平成26年度海外研修の実施校数、参加生徒数、実施時期、日数、旅行費用、訪問国、研修先国、研修内容
 - ハ. 平成26年度国内航空機利用修学旅行の実施状況
 - ニ. 平成26年度国内修学旅行方面別実施状況
 - ホ. 平成26年度訪日修学旅行受入状況
 - ヘ. 平成27年度修学旅行の実施基準

2. 集計及び区分け等

- データは各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各道府県私立学校所管部署からのデータを集計し、一部本協会の調査データを加えた。
- 海外修学旅行・海外研修とも都道府県の実施校数・参加生徒数は出国数をベースとし、クラス別・班別及び課程別での実施を件数表示とした。また複数方面にまたがる場合、国別集計では延べ数でカウントした。
- 訪問国は、旅行という観点から大陸区分によったが、グアム・サイパン島は北アメリカに、パラオ・マーシャル諸島はオセアニアに区分した。
- 海外研修は学校が主催する3ヶ月未満の語学研修、ホームステイ、教科の特性を生かした実習・研修、姉妹校交流等をまとめ、研修内容の区分は本協会独自の仕訳によった。
- 国内方面別実施状況は、クラス別・班別及び課程別での実施や複数方面にまたがる場合も1校として集計のため、設置校数・生徒数と一致しない。
中学校は県によってデータ把握が困難なため参考数値として集計した。
- 訪日修学旅行受入状況については、各都道府県教育委員会で把握されているもののみ掲載した。

3. 平成26年度全国高等学校の概要

- 学校数は4,963校（本校4,872校、分校91校）で、前年度より18校減少している。
 - ・ 公立の学校数は3,628校で、前年度より18校減少している。
 - ・ 国立の学校数は15校で、前年度と同数である。
 - ・ 私立の学校数は1,320校で、前年度と同数である。
- 生徒数は333万4千人で前年度より1万5千人増加している。
修学旅行対象学年（全日制2年，定時制3年，専科，別科，中等教育後期課程）の生徒数は、約110万3千人で前年度より約7千人減少している。

（資料：平成26年度文部科学省学校基本調査）

II 調査結果の概要

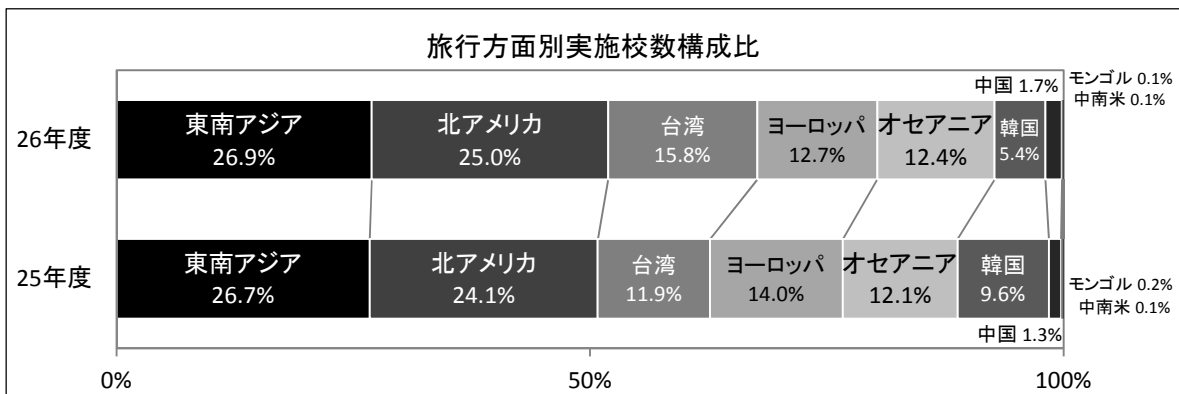
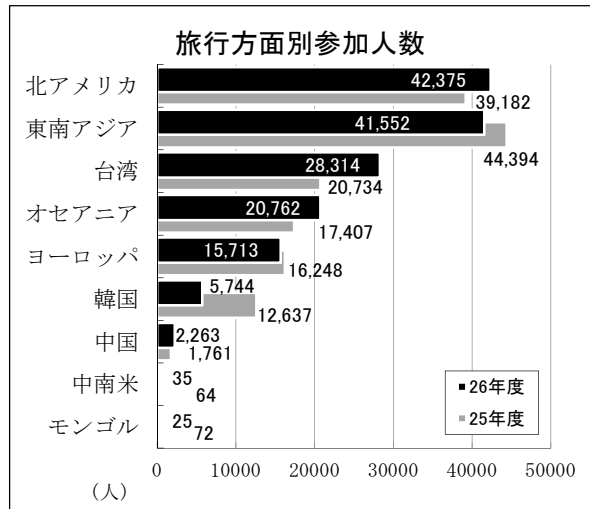
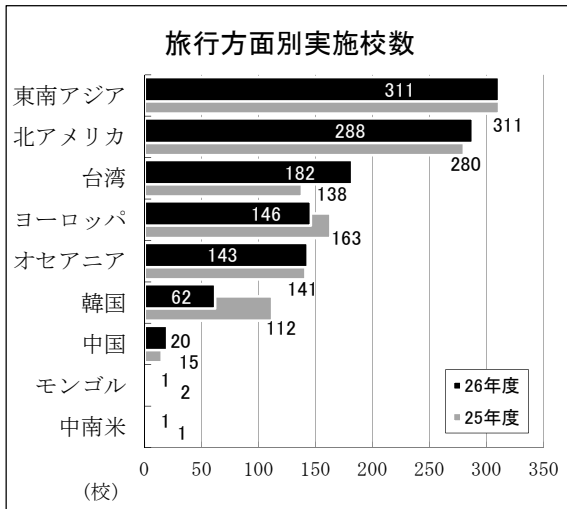
1. 平成26年度海外修学旅行の実施状況

(1) 全国の動向

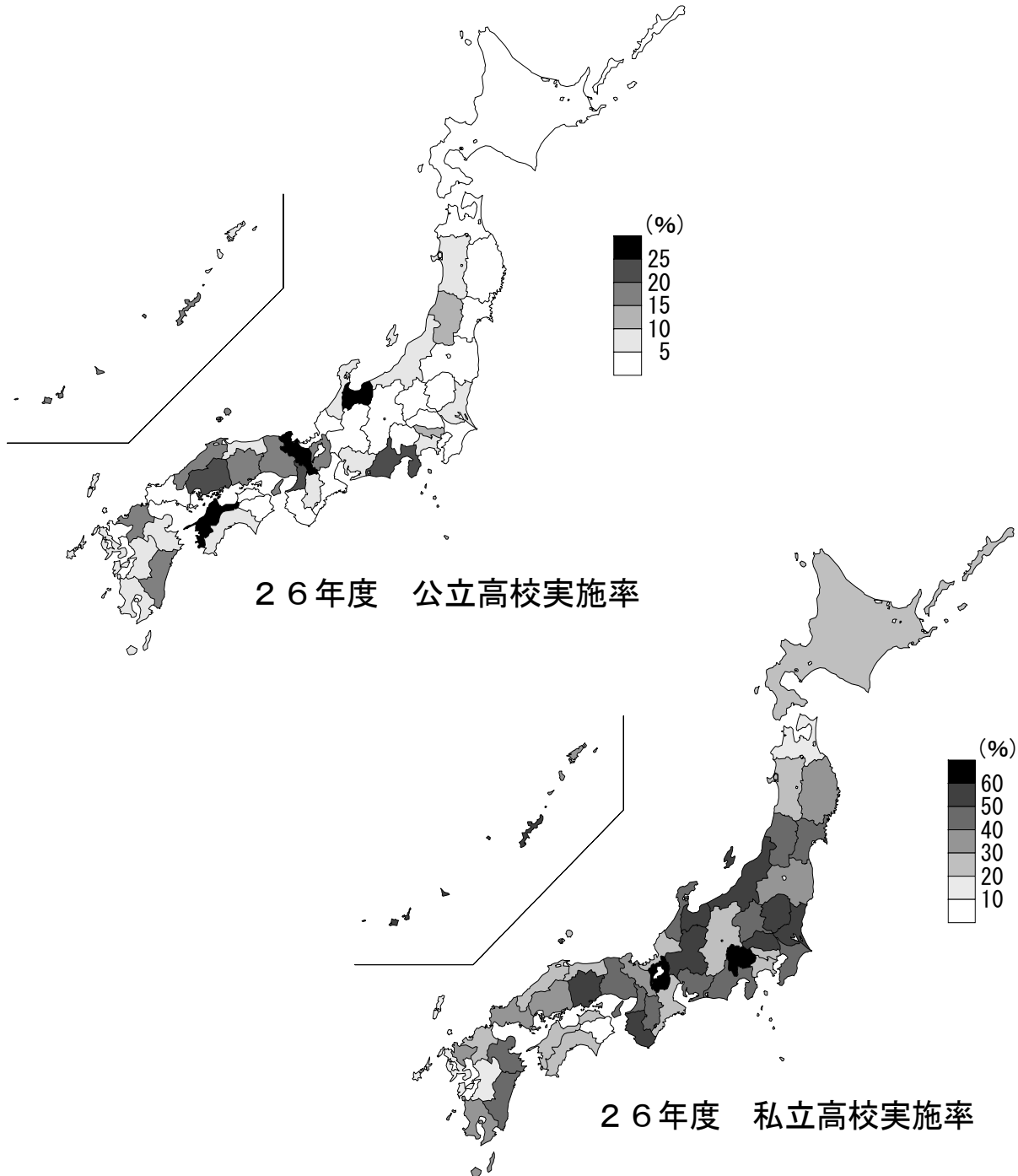
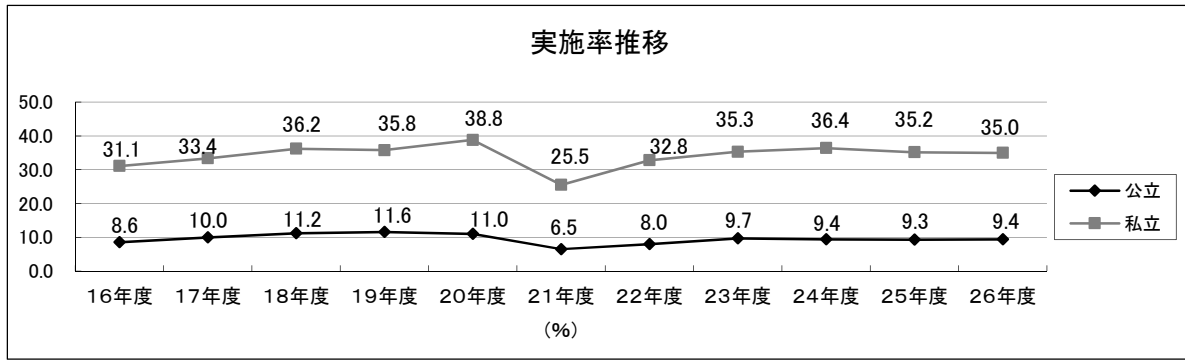
- 実施校数は増加(3校増)、参加生徒数も増加(3,639人増)、旅行件数は減少(8件減)であった。全国で813校（公立345校・私立468校）が実施し、137,646人（公立54,911人・私立82,735人）の生徒が参加した。公立高校では9.4%、私立高校では35.0%の実施率であった。旅行件数は、1,036件（公立367件・私立669件）にのぼる。
- 前年度と比べ、公立は、実施校数・旅行件数ともに増加、私立は減少。参加生徒数は、公私立ともに増加した。（公立1,659人増、私立1,980人増）
- 旅行先(延べ数)では、34ヶ国・地域に1,154校156,783人が訪問した。前年度より台湾、北アメリカ、オセアニア方面で実施校数・参加生徒数ともに増加した。台湾の伸びが前年度に続き、更に加速しており、昨年、初めて2万人を越えた生徒数が、本年度は3万人に近づく結果となった（28,314人）。一方、韓国は本年度、最も様々な影響を受けたと思われる（旅客船沈没事故など）、昨年より更に大幅な減少となった。主要方面として、東南アジアは、311校41,552人（公立147校20,965人、私立164校20,587人）北アメリカは、288校42,375人（公立90校13,646人、私立198校28,729人）であった。

① 年度別実施状況

区分	計			公立			私立		
	実施校数	旅行件数	参加生徒数	実施校数	旅行件数	参加生徒数	実施校数	旅行件数	参加生徒数
平成24年度	827	1,061	134,176	347	373	51,954	480	688	82,222
平成25年度	810	1,044	134,007	340	361	53,252	470	683	80,755
平成26年度	813	1,036	137,646	345	367	54,911	468	669	82,735



※グラフは延べ数を基に作成。



② 公立高等学校の訪問国別生徒数 上位10ヶ国・地域

国・地域	年度	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数
台湾		36	106	16,584	39	138	20,734	40	182	28,314
マレーシア		35	131	19,773	32	133	20,139	32	135	19,064
シンガポール		41	141	19,914	41	145	20,968	39	143	18,957
オーストラリア		36	121	16,599	34	114	14,778	29	120	18,134
グアム		29	88	12,280	28	101	15,257	29	99	16,111
ハワイ		31	77	9,679	27	74	10,090	28	77	10,661
アメリカ本土		24	56	6,299	20	57	7,052	25	63	9,034
イギリス		15	34	4,748	17	43	5,529	22	49	6,626
韓国		40	172	21,486	40	112	12,637	28	62	5,744
カナダ		22	42	5,819	19	43	6,493	20	40	5,722

②-1 公立高等学校の訪問国別生徒数 上位10ヶ国・地域

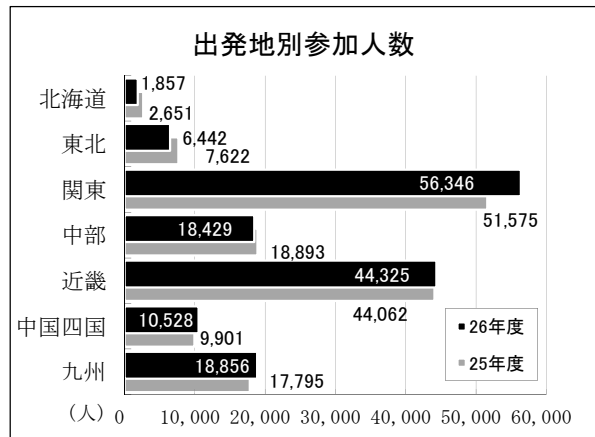
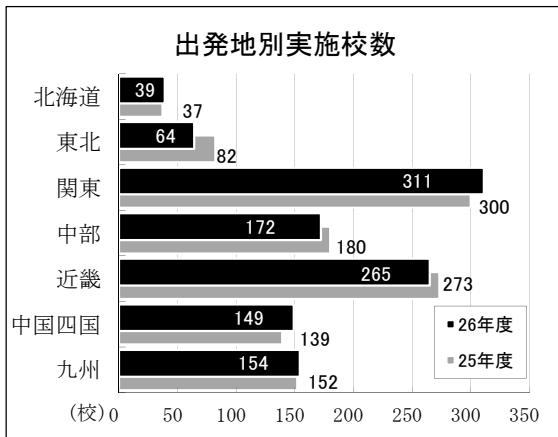
国・地域	年度	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数
台湾		25	61	11,310	29	79	13,648	32	110	19,443
マレーシア		24	68	10,708	24	71	11,211	27	72	10,921
グアム		17	41	7,163	19	53	9,374	18	52	9,502
シンガポール		27	55	7,675	29	58	8,263	29	64	8,159
オーストラリア		12	22	2,606	12	18	2,600	13	23	3,276
ハワイ		10	18	1,967	8	17	2,415	7	17	2,472
韓国		29	89	11,118	20	55	6,182	11	25	2,283
ベトナム		1	1	27	1	4	821	3	6	1,356
アメリカ本土		11	14	571	8	11	448	7	12	774
フランス		5	7	574	3	5	576	3	5	616

②-2 私立高等学校の訪問国別生徒数 上位10ヶ国・地域

国・地域	年度	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数
オーストラリア		30	99	13,993	29	96	12,178	26	97	14,858
シンガポール		35	86	12,239	33	87	12,705	33	79	10,798
台湾		31	45	5,274	31	59	7,086	33	72	8,871
アメリカ本土		21	42	5,728	19	46	6,604	24	51	8,260
ハワイ		26	59	7,712	25	57	7,675	26	60	8,189
マレーシア		32	63	9,065	26	62	8,928	26	63	8,143
グアム		25	47	5,117	25	48	5,883	24	47	6,609
イギリス		15	31	4,642	17	40	5,415	21	44	6,426
カナダ		20	35	5,167	18	37	5,852	18	35	5,184
フランス		23	44	5,456	23	50	5,830	19	36	4,194

(2) 都道府県別の動向

○ 実施校は、北海道、関東、中国四国、九州地方は増加、その他の地方は減少。
 また、実施校は、21道県で増加、25都府県が減少。公立では17都府県で増加、16道府県で減少。私立では11道県で増加、27都府県で減少している。



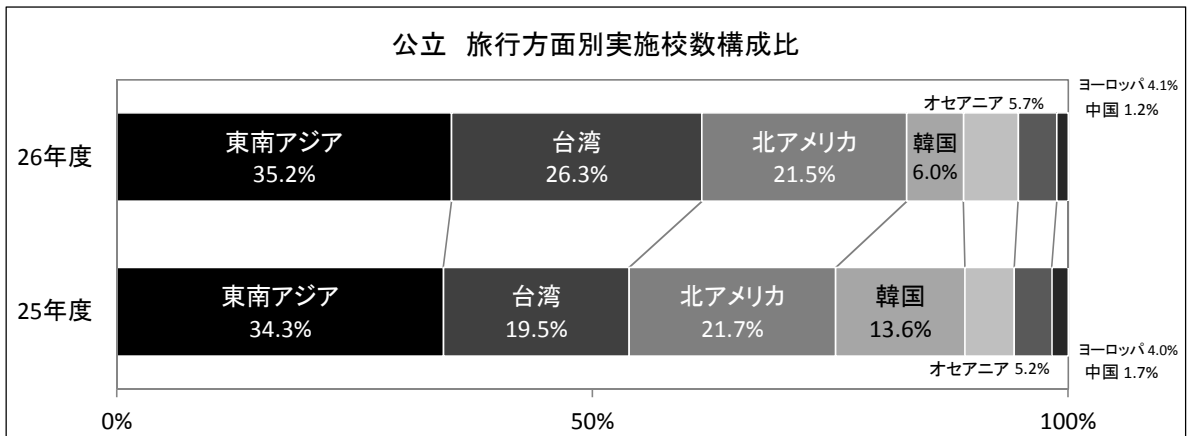
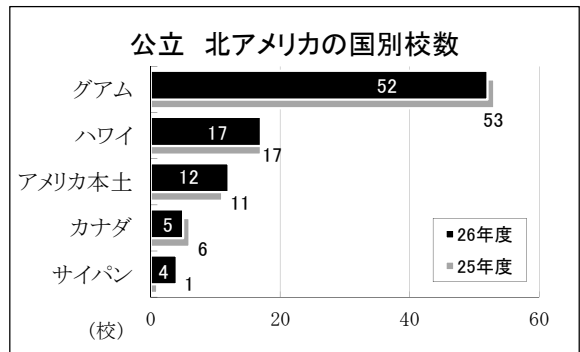
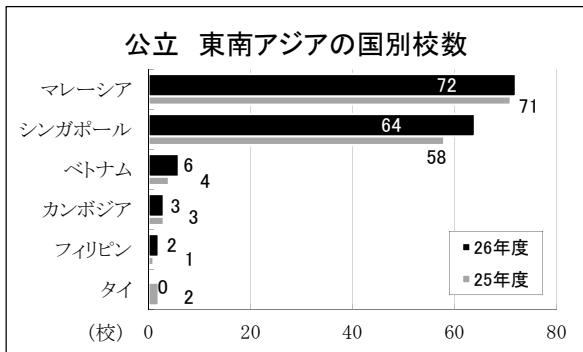
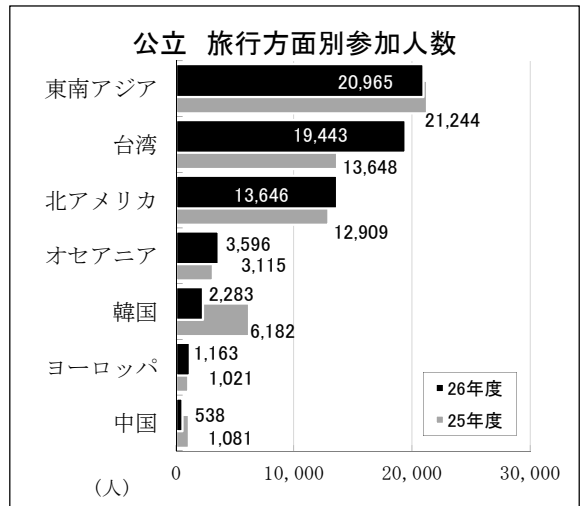
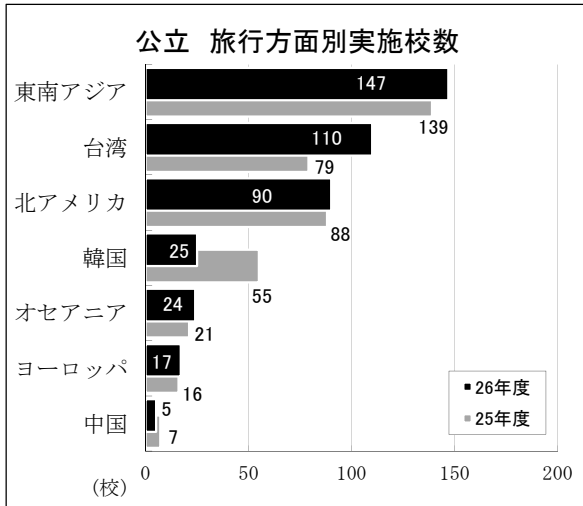
※グラフは延べ数を基に作成。

(3) 公私立別の状況

① 公立高等学校

○ 実施校は、345校が実施し54,911人が参加した。旅行実施件数は367件であった。
前年度より、実施校数で5校、旅行実施件数は6件増加。参加生徒数も1,659人増加した。

○ 旅行先(延べ数)では、22ヶ国・地域に418校61,634人が訪問した。
前年度より実施校数、旅行件数及び参加生徒数、全て増加した。
大幅な増加となった台湾は、110校19,443人。微増は北アメリカの、90校13,646人他、オセアニア、ヨーロッパ。大幅に減少した韓国は、25校2,283人であった。東南アジアは、校数は伸びたが、参加生徒数が微減であった。

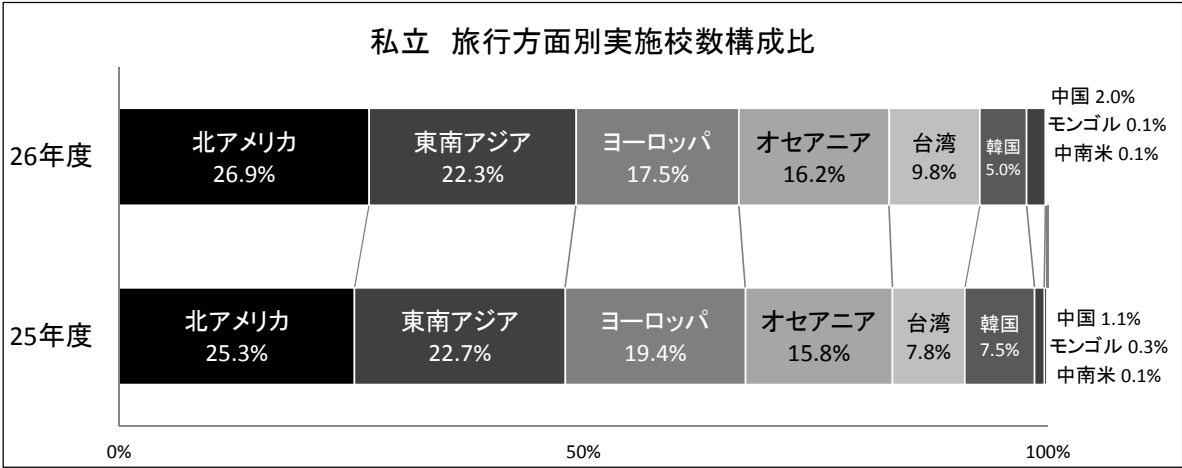
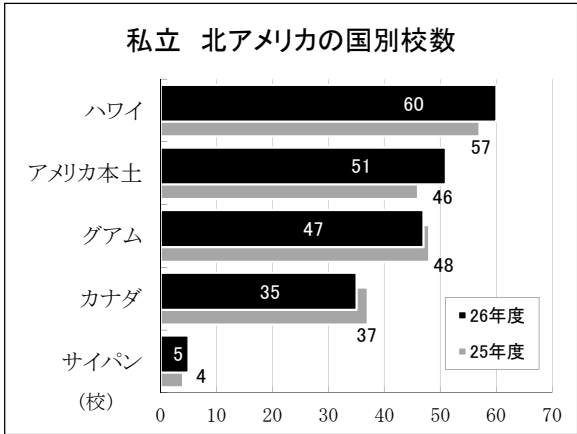
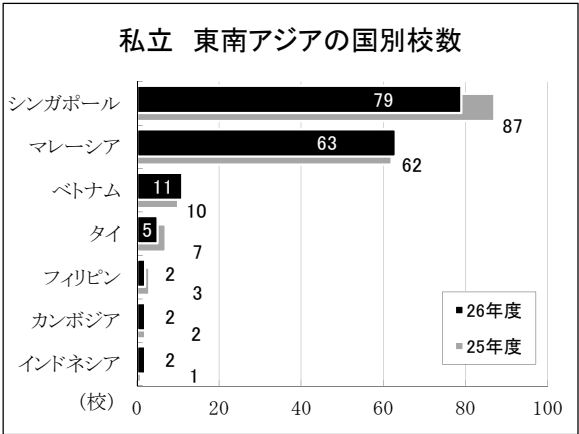
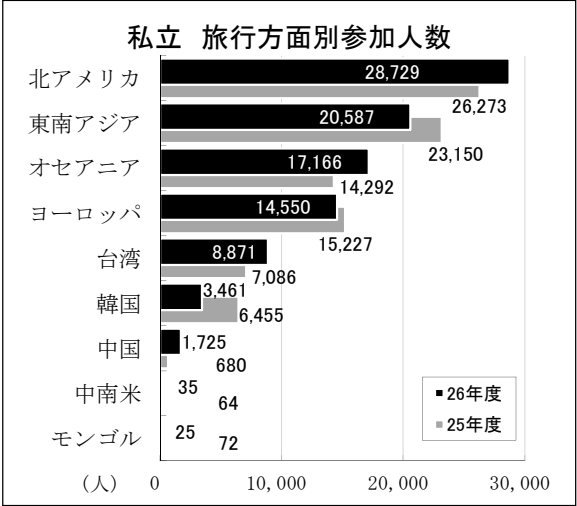
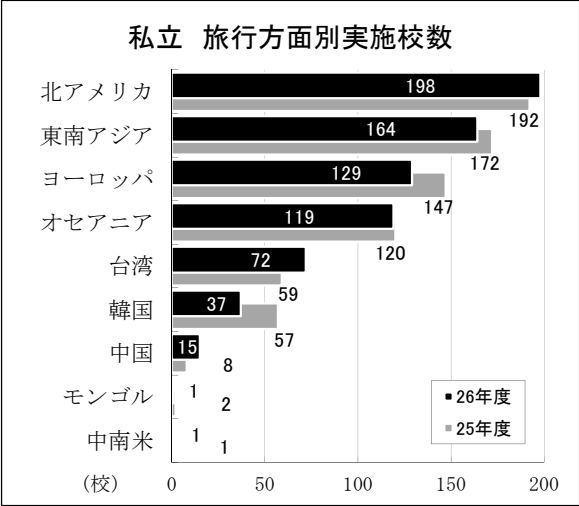


※グラフは延べ数を基に作成。

② 私立高等学校

○ 実施校は、468校が実施し82,735人が参加した。旅行実施件数は669件であった。
 前年度より、実施校数(2校減)、旅行件数(14件減)は減ったが、参加生徒数(1,980人増)は増えた。

○ 旅行先(延べ数)では、33ヶ国・地域に736校95,149人が訪問した。
 前年より実施校数、旅行件数は減少したが、参加生徒数は1,850人増加した。方面別では、北アメリカ198校28,729人、東南アジア164校20,587人、ヨーロッパ129校14,550人、オセアニア119校17,166人、台湾72校8,871人、韓国37校3,461人、中国15校1,725人、中南米1校35人、モンゴル1校25人が多い。



※グラフは延べ数を基に作成。

(4) 公私立中学校の状況（参考）

中学校の海外修学旅行は、私立学校を主としており、公立学校は一部府県での実施が見られる。参考資料として掲載した。

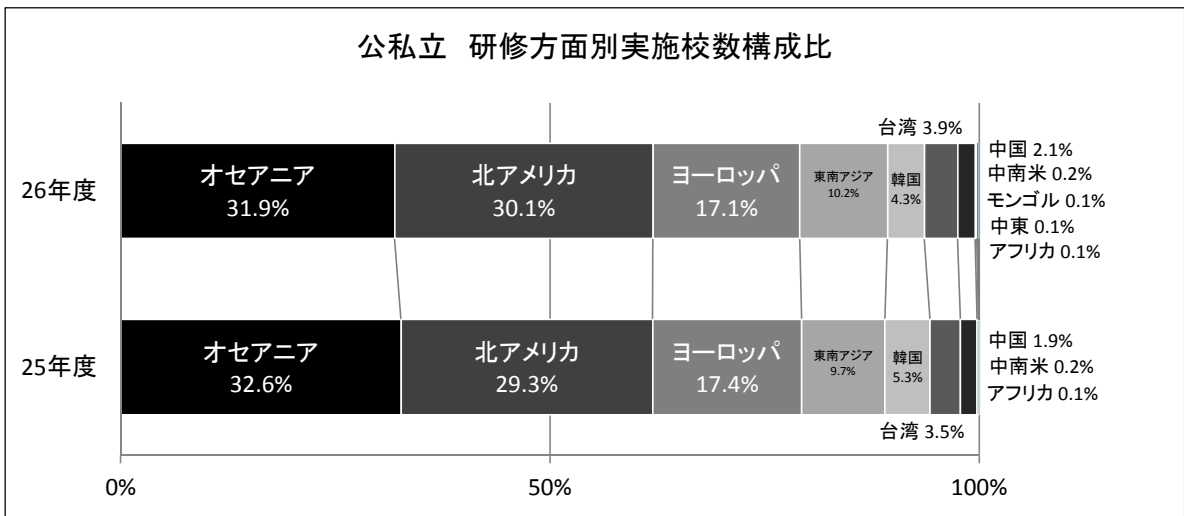
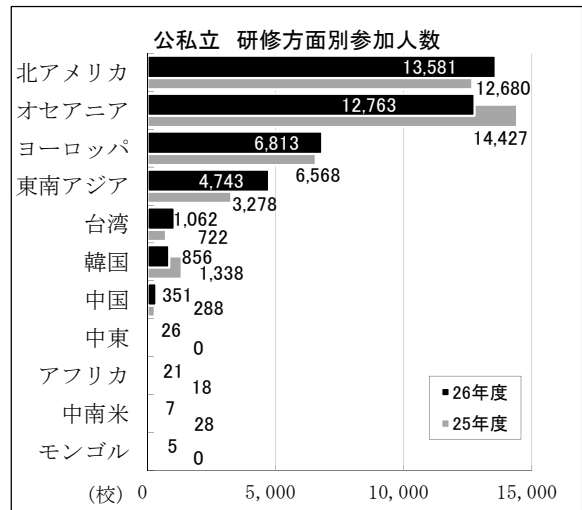
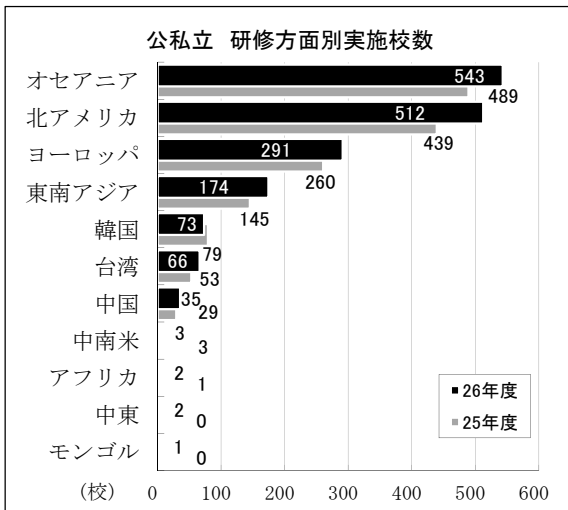
- 125校9,126人（公立13校761人、私立112校8,365人）の実施があった。
- 公立中学校は10道府県で実施され、東北（福島）、関東（山梨）、中部（静岡）からの学校が比較的多い。
旅行方面は、校数ではオセアニア方面（6校155人）が最も多く、日数は5～8日間であった。カナダ、シンガポール、マレーシアへは、他地域に比べ、比較的大規模の学校の実施がみられた。
- 私立中学校は40都道府県で実施され、オセアニア方面（41校3,258人）が最も多く、次いで北アメリカ（41校2,656人）、東南アジア（23校2,089人）の順となっている。
旅行日数は「10日間以上」について「7日間」、費用は15万円以上が最も多い。

2. 平成26年度海外研修の実施状況

- 実施校は、1,199校(公立612校、私立587校)が実施し、参加生徒数は38,002人(公立14,396人、私立23,606人)であった。研修件数は1,776件(公立776件、私立1,000件)を数える。前年度と比べ、実施校数・研修件数ともに増加している。
- 研修先(延べ数)では、44ヶ国・地域に1,702校40,228人(公立772校15,026人、私立930校25,202人)が参加した。
研修先は例年と変わらずオセアニア、北アメリカ、ヨーロッパが多い。
- 研修内容は、ホームステイ・語学研修が968校22,331人で実施総数(留学含む)の校数比52.5%、人数比55.5%と最も多い。公立では全件数の校数比37.8%(人数比43.0%)、私立で校数比63.7%(人数比63.0%)となっている。

海外研修旅行(修学旅行外)の年度別実施状況

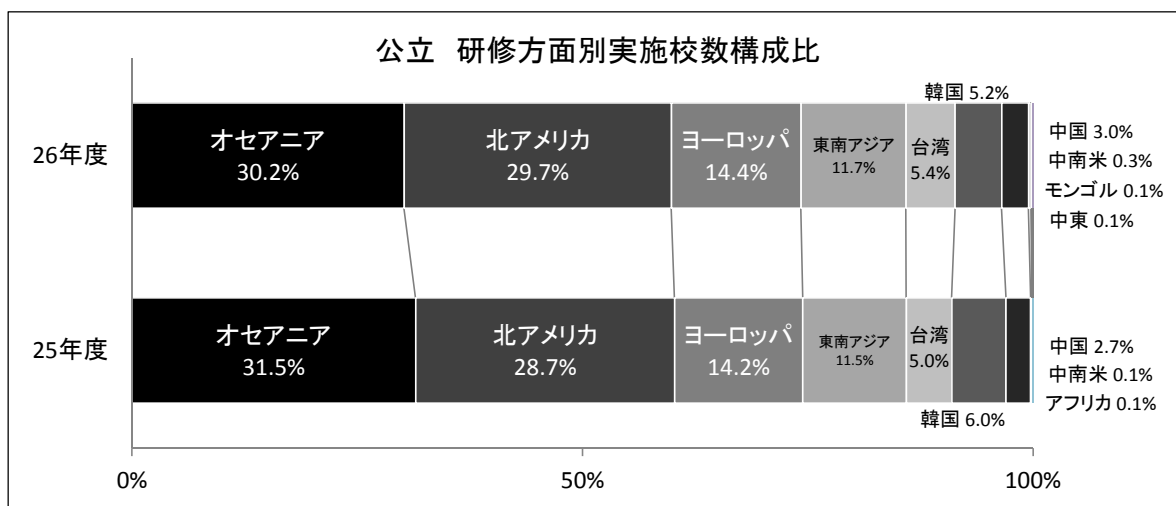
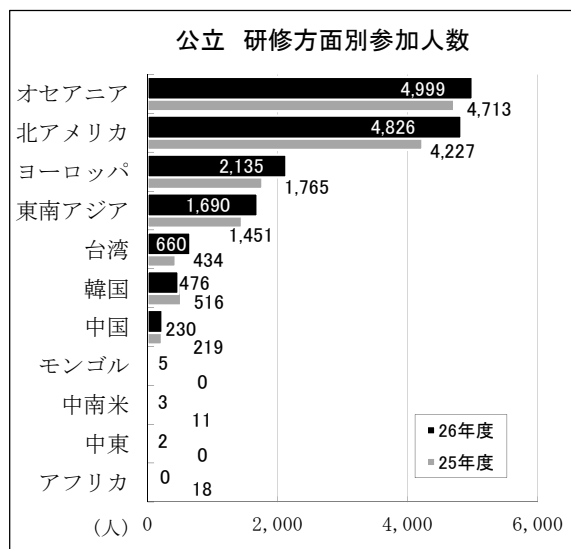
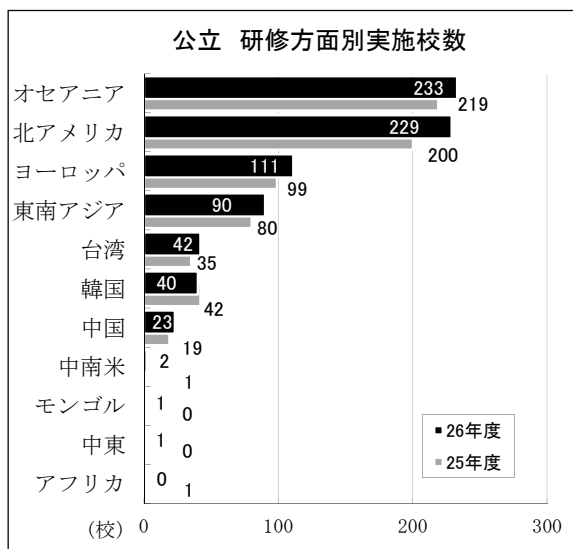
	計			公立			私立		
	実施校数	研修件数	参加生徒数	実施校数	研修件数	参加生徒数	実施校数	研修件数	参加生徒数
平成24年度	999	1,411	32,047	506	601	10,925	493	810	21,122
平成25年度	1,083	1,562	37,452	554	687	12,584	529	875	24,868
平成26年度	1,199	1,776	38,002	612	776	14,396	587	1,000	23,606



※グラフは延べ数を基に作成。

(1) 公立高等学校

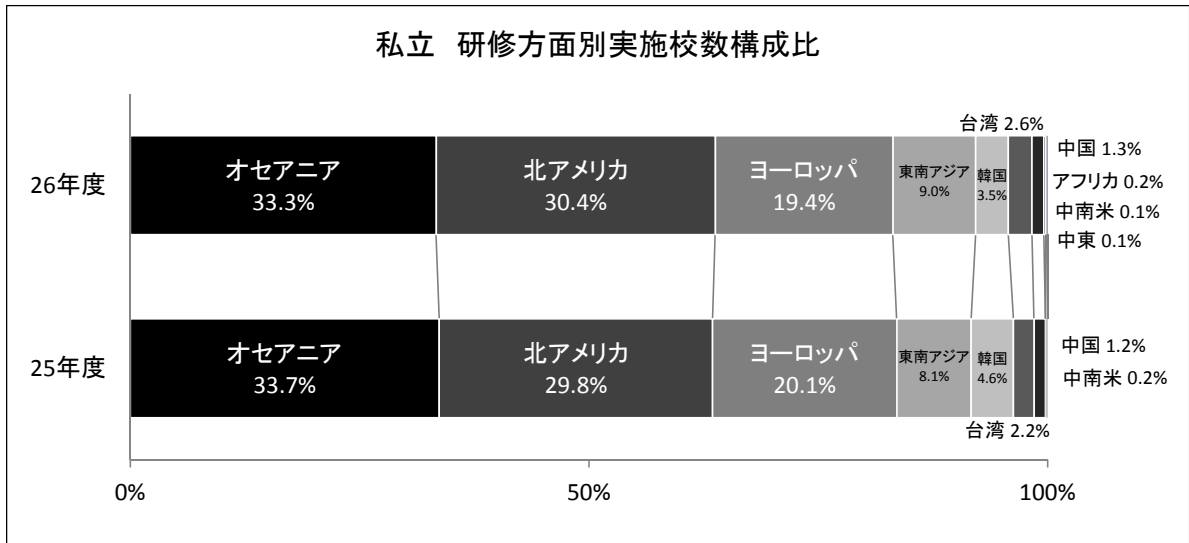
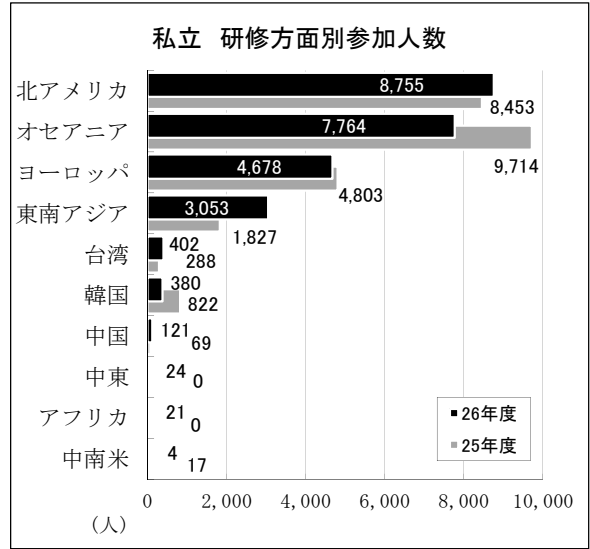
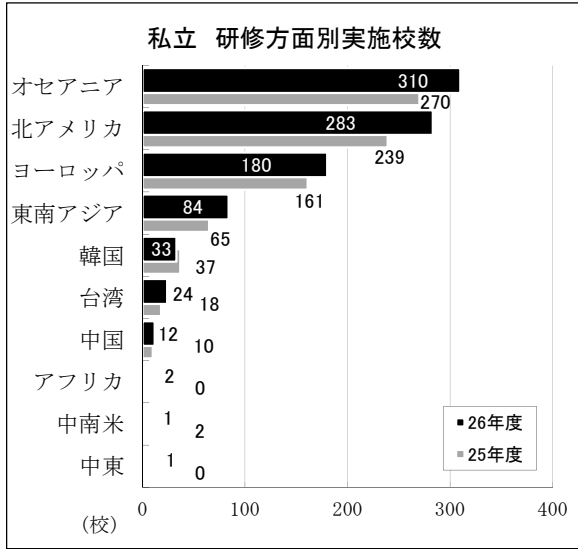
- 実施校は、612校（件数は776件）が実施し、参加生徒数は14,396人であった。
公立高校では複数校が同一研修に参加している事例が多い。
- 研修先（延べ数）では、33ヶ国・地域に772校15,026人が参加した。
研修方面ではオセアニア（233校4,999人）の、特にオーストラリアが多く、北アメリカ（229校4,826人）、ヨーロッパ（111校2,135人）が続く。又、アジア方面も増加している。
- 研修内容は、ホームステイ・語学研修が302校6,465人（校数比37.8%、人数比43.0%）と最も多い。次いで国際交流・国際理解が197校3,815人（校数比24.7%、人数比25.4%）と多いが、オセアニア方面で実施している学校は学校交流（姉妹校交流・学校訪問）が国際交流・国際理解を上回っている。



※グラフは延べ数を基に作成。

(2) 私立高等学校

○ 実施校は、587校（件数は1,000件）が実施し、参加生徒数は23,606人であった。
 ○ 研修先(延べ数)では、40ヶ国・地域に930校25,202人が参加した。
 研修方面ではオセアニア（310校7,764人）・北アメリカ（283校8,755人）・ヨーロッパ（180校4,678人）が多い。研修内容は、ホームステイ・語学研修が666校15,866人（校数比63.7%、人数比63.0%）と過半数を占める。



※グラフは延べ数を基に作成。